

第35回

平成25年10月 発行

長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

特別調査 「アベノミクス」がもたらす中小企業への影響について

長岡信用金庫 総合企画部

TEL (0258)36-4344

【実績】平成25年4月～平成25年9月 【予想】平成25年10月～平成26年3月

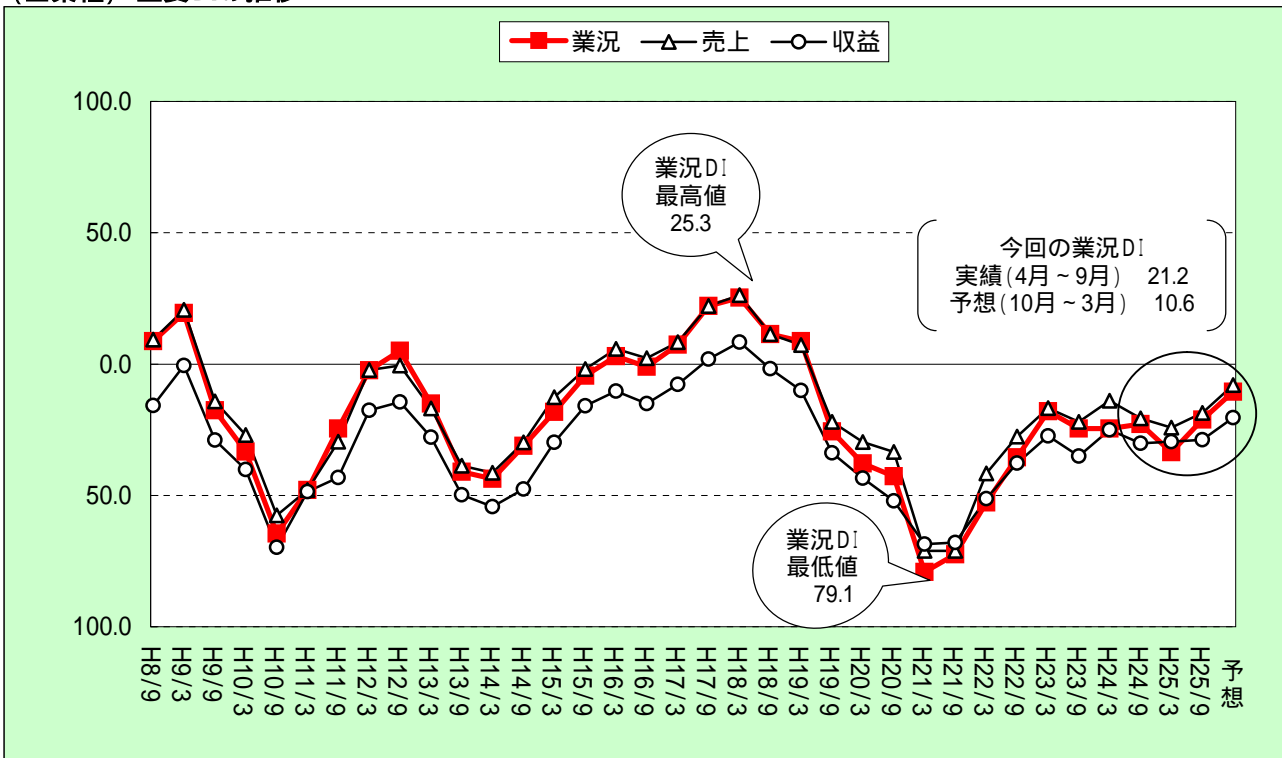
<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

- ・全体の業況、売上は改善。収益は横這いから改善予想。
- ・建設業の業況DIは8.2に改善、予想DIも14.3。
- ・「アベノミクス」の流れの中で設備投資は「設備の更新・維持・補修」が30.8%。

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	33.6	12.4 (改善)	21.2	10.6 (改善)	10.6
売上	24.2	5.6 (改善)	18.6	10.6 (改善)	8.0
仕入価格	28.9	18.4 (悪化)	47.3	-3.1 (改善)	44.2
販売価格	21.0	10.7 (改善)	10.3	4.5 (改善)	5.8
収益	29.5	0.7 (横這い)	28.8	8.4 (改善)	20.4
在庫	5.8	-0.5 (横這い)	5.3	-2.9 (改善)	2.4
受注残高	26.1	14.4 (改善)	11.7	15.0 (改善)	3.3
資金繰り	25.1	7.4 (改善)	17.7	-5.3 (悪化)	23.0
人手	7.0	-4.5 (悪化)	11.5	-7.1 (悪化)	18.6
設備状況	2.3	-2.2 (悪化)	4.5	-5.8 (悪化)	10.3

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

- ・業況、売上は改善。予想は業況、売上、収益ともに改善見込み。
- ・設備投資を増やすとすれば、「設備の更新、維持、補修」が34.3%、「生産能力の拡大のための設備機械」が20.7%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	45.7	18.2 (改善)	27.5	12.1 (改善)	15.4
売上	34.4	9.1 (改善)	25.3	17.6 (改善)	7.7
収益	35.5	2.5 (改善)	33.0	15.4 (改善)	17.6

(建設業)

- ・業況は改善、収益は悪化。予想は業況、売上、収益ともに改善見込み。
- ・設備投資を増やすとすれば、「設備の更新、維持、補修」が29.4%、「車両・事務用機器」が25.5%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	4.1	12.3 (改善)	8.2	6.1 (改善)	14.3
売上	4.1	0.0 (横這)	4.1	12.2 (改善)	16.3
収益	18.4	-8.1 (悪化)	26.5	20.4 (改善)	6.1

(卸売業)

- ・業況、売上、収益ともに改善。予想は業況、売上は改善、収益は横這い見込み。
- ・設備投資を増やすとすれば、「車両・事務用機器」が27.5%、「設備の更新、維持、補修」が21.1%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	52.6	17.6 (改善)	35.0	30.0 (改善)	5.0
売上	42.1	27.1 (改善)	15.0	25.0 (改善)	10.0
収益	42.1	27.1 (改善)	15.0	0.0 (横這)	15.0

(小売業)

- ・業況は改善傾向。売上は改善したものの予想は悪化見込み。収益は悪化傾向。
- ・設備投資を増やすとすれば、「設備の更新、維持、補修」が30.8%、「車両・事務用機器」が17.3%。

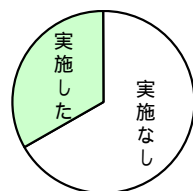
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	46.2	3.9 (改善)	42.3	3.8 (改善)	38.5
売上	42.3	15.4 (改善)	26.9	-19.3 (悪化)	46.2
収益	30.8	-11.5 (悪化)	42.3	-11.5 (悪化)	53.8

(その他)

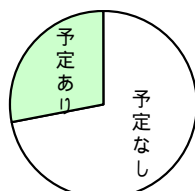
- ・業況は改善傾向。収益は悪化見込み。
- ・設備投資を増やすとすれば、「設備の更新、維持、補修」が28.4%、「車両・事務用機器」が22.5%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	25.0	2.5 (改善)	22.5	7.5 (改善)	15.0
売上	15.0	-12.5 (悪化)	27.5	5.0 (改善)	22.5
収益	22.5	2.5 (改善)	20.0	-5.0 (悪化)	25.0

(全業種) 設備投資の実施と予定

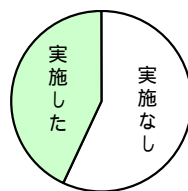


実施した
33.3%

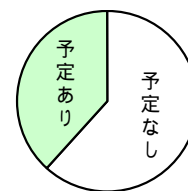


予定あり
28.1%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した
43.1%



予定あり
38.4%

(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	20.6%	20.8%	15.4%	20.0%	24.3%	24.1%
同業者間の競争激化				16.4%	11.4%	12.0%
利幅の縮小	13.1%	12.9%	14.6%	12.7%	14.3%	11.1%
材料価格の上昇	10.2%	12.2%				
人手不足			13.8%			

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	22.6%	24.4%	18.7%	25.0%	22.4%	21.9%
経費を削減する	19.7%	19.6%	23.1%	20.0%	18.6%	16.7%
情報力を強化する				14.5%		13.9%
人材を確保する			15.4%		10.0%	
技術力を強化する	11.8%	15.3%				13.9%

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・売上・収益とも特段の変化はないが、円安の影響もあり海外シフト分の国内回帰が期待される。
- ・県外企業中心に受注増加。同社ホームページ閲覧による受注も多数あり。
- ・5月より売上回復し収益挽回。安定した製造能力を確保すべく、人材確保と技術力向上が課題。
- ・経済産業省の設備投資補助金制度に採用され、現在新設備導入中。今後の受注量・利益率アップに期待。
- ・主力先である工作機械業界からの受注回復が遅れている。秋口からの回復見込みに期待。
- ・メッキ加工を必要としない材料が増えてメッキ需要は減少。受注先数を確保し経費削減しながら耐えている状況。
- ・事務所・工場の照明LED化、初期コストは掛かるがそれ以上に、従業員に対するコスト削減意識の浸透が目的。
- ・自動車関連において受注増加。しかし、低単価・短納期にて粗利確保厳しく、経費削減にて対応。
- ・スマホ関連機械の大型受注により、短期的には売上増加見込み。但し、来春以降は先行き不透明。

(建設業)

- ・直近の受注・売上状況は好転、今後の受注も確保。作業員、技術者が不足しており、外注人員の確保が課題。
- ・市・県の受注を中心に安定した売上を確保。従業員が高齢になってきており、若い人材を雇用していく予定。
- ・消費税増税の駆け込み需要で来年3月までは売上増加見込。材料費は上がっていないが、これから上がりそう。
- ・大手ハウスメーカー、地元大手業者と価格・営業力の差大。建築資材の値上りで収益確保が難しくなっている。
- ・災害復旧等の公共工事増加も、今迄の人員抑制体制により人手不足の状況。
- ・消費税増税、住宅ローン低金利の状況より、新築需要増加、完成内覧会においても例年の3倍程度の来場者あり。

(卸売業・小売業)

- ・スーパー、量販店との価格競争が激しい。インターネット販売や量販店にできない配達業務で顧客獲得。
- ・猛暑の影響で飲料関係の売上が伸び、本格コーヒー、惣菜等品揃えの充実から、8月の売上は過去最高。
- ・軽自動車の売上は順調、高級車に比べ価格が違うため売上・収益ともに減少。
- ・道の駅開業で商品納入、今の所予想外に好調。材料値上分を価格に転嫁せず対応中。
- ・東京オリンピック決定をきっかけに、好転に期待している。

(その他)

- ・燃料費高騰は、受注先と交渉し利益率改善。節税対策で運搬車両2台入替。収益状況を見ながら車両入替検討。
- ・今期の受注量は確保。機械及びダンプ等の老朽化に伴い故障も多く経費が膨らんでいる。
- ・事業所の暑気払やお祭りの仕出しなど年々減少。アベノミクスの影響が顧客の消費動向まで行き届いていない。
- ・6月に大型乾燥機の設備導入で乾燥部門の効率化を図った。受注は増加傾向。
- ・燃料費高騰を価格転嫁できず収益減少。秋の旅行シーズンを迎えバスの予約状況は順調。

特別調査 「アベノミクス」がもたらす中小企業への影響について

問1

「アベノミクス」において「第1の矢」とされる「大胆な金融緩和(円高是正・量的緩和等)」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを次の1～4より1つお答えください。また、「第2の矢」とされる「機動的な財政政策(大規模な公共投資等)」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを次の5～8より1つお答えください。

(第1の矢・金融緩和)		(第2の矢・財政政策)	
1. 良い影響があった	8.0%	5. 良い影響があった	5.8%
2. どちらともいえない	44.7%	6. どちらともいえない	47.3%
3. 悪い影響があった	7.5%	7. 悪い影響があった	2.2%
4. 影響はない	39.8%	8. 影響はない	44.7%

問2

「アベノミクス」において「第3の矢」とされる「民間投資を喚起する成長戦略」について、どのような分野での成果を期待しますか。あてはまるものを次の1～10より最大3つまでお答えください。

1. 規制改革の推進	18.4%	6. 産業の新陳代謝の円滑化	16.4%
2. イノベーション・IT政策の立て直し	2.4%	7. 若者・女性の活躍推進	8.5%
3. 経済連携の推進	15.7%	8. 攻めの農業政策の推進	4.2%
4. 責任あるエネルギー政策の構築	17.1%	9. 資源確保・インフラ輸出戦略の推進	8.8%
5. 地球温暖化対策の見直し	5.5%	10. クールジャパンの推進(にほんの魅力)の発信	2.9%

問3

貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、賃金を上げましたか。あてはまるものを以下の1～3より1つお答えください。また、今後(1年以内)賃金を引き上げる予定はありますか。あてはまるものを以下の4～7より1つお答えください。

(現在)		(今後)	
1. 引き上げた	19.9%	4. 引き上げる予定	13.3%
2. 据え置いている	76.5%	5. 据え置く予定	58.0%
3. 引き下げた	3.5%	6. 引き下げる予定	2.7%
		7. わからない	26.1%

問4

「アベノミクス」では女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業者数に占める女性社員の割合はおおよそどのくらいですか。あてはまるものを以下の1～5より1つお答えください。また、中期的に(3～5年後)女性社員の雇用について、どのように対応する予定ですか。あてはまるものを以下の6～9より1つお答えください。

(割合)		(雇用)	
1. 10%未満	32.7%	6. 増やす予定	13.3%
2. 10%以上～30%未満	37.6%	7. 変えない予定	83.2%
3. 30%以上～50%未満	15.0%	8. 減らす予定	0.4%
4. 50%以上～70%未満	7.5%	9. その他()	3.1%
5. 70%以上	7.1%		

問5

貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、設備投資を増やすとすれば、どのような内容が考えられますか。あてはまるものを以下の1～9より最大3つお答えください。

1. 設備の更新・維持・補修	30.8%	6. ITの導入など情報化投資	10.5%
2. 省力化・合理化のための設備機械	10.8%	7. 車両・事務用機器	16.8%
3. 生産能力の拡大のための設備機械	12.4%	8. 事業用の土地・建物	5.8%
4. 新製品・新事業進出	8.9%	9. その他()	1.3%
5. 研究開発・市場調査	4.7%		

調査要領

調査時点 : 平成25年9月
 調査方法 : 当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査
 対象期間 : 【実績】平成25年4月～平成25年9月 【予想】平成25年10月～平成26年3月
 調査地域 : 当金庫営業地域(長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市)
 調査先 : 226先(回収率100%)
 分析方法 : 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自信の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。